【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公表番号】特表2001-526022(P2001-526022A)
【公表日】平成13年12月18日(2001.12.18)
【出願番号】特願2000-522226(P2000-522226)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ｃ１１Ｄ　3/386　(2006.01)
Ｃ１２Ｈ　1/12　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/15　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/19　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/21　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　9/88　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　11/18　(2006.01)
Ａ２３Ｌ　2/84　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/10　(2006.01)
Ｃ１２Ｒ　1/07　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
Ｃ１１Ｄ　3/386
Ｃ１２Ｈ　1/12
Ｃ１２Ｎ　1/15
Ｃ１２Ｎ　1/19
Ｃ１２Ｎ　1/21
Ｃ１２Ｎ　9/88
Ｃ１２Ｎ　11/18
Ａ２３Ｌ　2/34
Ｃ１２Ｎ　5/00　Ａ
Ｃ１２Ｎ　9/88
Ｃ１２Ｒ　1:07

【誤訳訂正書】
【提出日】平成19年10月24日(2007.10.24)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０２２３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０２２３】
本発明のペクチン酸リアーゼは、SDS-PAGEにおいて36kDa の分子量をもつバンドとして容易に見ることができた。このバンドのエレクトロブロッティング後、Ｎ末端は次のように決定された：Ser-Asn-Gly-Pro-Gln-Gly-Tyr-Ala-Ser-Met-Asn-Gly-Gly-Thr
これは、33アミノ酸のプロ配列と共に配列番号：１に示されるDNA配列から推定される配列番号：２で示されるアミノ酸配列と一致する。推定される配列から計算されるMWは36kDaであり、計算されるpIは６であった。280nmにおけるモル吸光係数は48,930であった。
異なるpHにおけるβ- トランス脱離活性（235nm におけるリアーゼアッセイを使用する）を、40℃における定常状態反応速度論として測定した。相対速度を最適な活性の百分率として計算し、下記の結果が得られた：